



# 患者と家族、一緒に立ち向かおう

## がん治療で保坂氏講演

### “心のケア”必要性強調

沖繩がん心のケア研究者や患者の家族への心  
 究会による講演会「が  
 ん患者と家族の心のケ  
 ア」、医療なんでも相  
 談会が23日午後、石垣  
 市健康福祉センターで  
 開かれた。聖路加国際  
 病院精神腫瘍科・医長  
 保坂隆氏が、がん患  
 者の保坂隆氏が、がん患  
 者の保坂隆氏が、がん患



講演をした保坂隆氏＝23日午後、市健康福祉センター

加・体験型の研究会。  
 これまで県内で講演会  
 や研究会を開催してい  
 る。  
 同日は、同研究会の  
 スーパーバイザーでも  
 ある保坂氏を講師に、  
 「がん患者と家族のた  
 した。」

告知をしない場合、  
 精神症状の発現率が高  
 くなること、チーム医  
 療ができることを指  
 摘し、保坂氏は「大事  
 な事を自分に知らされ  
 ず、他の人が知ってい  
 ると患者は疑心暗鬼に  
 なる。非告知は決して  
 患者を守ることにはな  
 らない」と述べた。  
 また、チーム医療の  
 形として「医療者だけ

でなく、患者と家族と  
 情報を共有し、一緒に  
 病気に立ち向かうとい  
 う形が必要」とした。  
 がん患者の心理状態  
 をはじめ、患者の家族  
 に対するケアなどにつ  
 いても紹介された。  
 講演終了後、「医療  
 なんでも相談会」が開  
 かれたほか、夜には医  
 療者を対象にした講  
 演・事例検討会が行わ  
 れた。

# 八重山毎日新聞

THE YAEYAMA MAINICHI SHIMBUN

9月24日 土曜日  
2011年(平成23年)

発行所  
株式会社 八重山毎日新聞  
〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城614

## がん患者のケアで講演会

「がん患者と家族の心のケア」をテーマにした講演会(沖縄がん心のケア研究会主催)が23日午後、石垣市内で開かれた。聖路加国際病院精神腫瘍科の保坂隆医師が講演し、が

族が情報を共有して一緒に病気に立ち向かうようにしないと、これからのがん医療はうまくいかなるのではないかと述べ、告知を受けた患者と家族、医師などの医療者がともに治療に取り組むことの大切さを強調した。



「がん患者と家族の心のケア」をテーマにした講演会をする聖路加国際病院精神腫瘍科の保坂隆医師。23日午後、石垣市健康福祉センター。

また、告知した場合に比べて、告知しない場合には患者に精神疾患が起る率が高くなることを指摘し、うつ症状がある場合には医師に伝えるようアドバイスした。